

ELECOM

セキュリティ付 USB 2.0 フラッシュメモリ MF-JU2xxx シリーズ 操作マニュアル

■はじめに

このたびは、セキュリティ付 USB2.0 フラッシュメモリ MF-JU2xxx シリーズをお買い上げいただきありがとうございます。
本製品は、パソコンの USB ポートに接続してデータを読み書きするフラッシュメモリです。保存領域にパスワードを設定してデータを保存すると、自動的に暗号化することにより、セキュリティを高めています。
本操作マニュアルは、本製品のセットアップについて説明しています。ご使用になる前に本操作マニュアルをよくお読みになり、正しくセットアップをおこなってください。

■安全にご使用いただくために

- 本製品の取り付け、取りはずしのときには、必ずパソコンの本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。
- 本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。
- 本製品および本製品を取り付けたパソコン本体を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- 本製品の取り付け、取りはずしのときには、本製品に触れる前に金属製のもの（スチールデスク、ドアのノブなど）に手を触れて、静電気を除去してから作業をおこなってください。静電気は本製品の破損の原因になります。
- 異常を感じた場合はすぐに使用を中止し、お買い上げの販売店、もしくは当社総合インフォメーションセンターにご相談ください。
- 本製品は乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。誤って飲み込むと、窒息したり、身体に悪影響をおよぼしたりする恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。

■ご使用にあたって

- 本製品を接続した状態でパソコンを起動した場合、前回異常終了がなくてもスキャンディスクが自動的に行われる場合があります。
- 本製品を接続した状態でパソコンを起動した場合、これまでに接続したことのあるデバイスであっても新たにデバイスを認識する表示が出る場合があります。
- 本製品を接続してから認識されるまでに約 1 分ほど時間がかかる場合があります。パソコンの再操作が可能になるまでお待ちください。
- 本製品は著作権保護機能には対応しておりません。
- パソコンの電源が入った状態で、本製品をパソコンから取り外す際には、タスクトレイ(通知領域)上で、「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。無理に取り外しますと、ファイルが消失したり、故障の原因になります。
- 消失・破損したデータに関しては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品は、正しい向きでまっすぐ抜き差ししてください。
- スタンバイや休止状態、スリープ状態には対応しておりません。
- 本製品を湿気やホコリの多いところで使用しないでください。
- 本製品に強い衝撃を与えないでください。
- お手入れの際には乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。

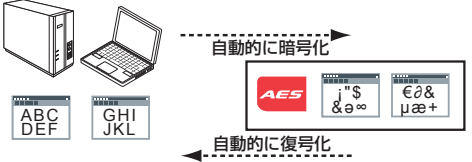
■ご購入時の状態について

- 本製品は通常そのままでお使いいただけますので、フォーマット(初期化)をおこなう必要はありません。また、ご購入時はパスワードは設定されていません。

ご使用の前に

セキュリティ機能について

本製品はハードウェアによる自動暗号化機能を搭載しています。すべてのデータを強制的に暗号化して保存しますので、万一、紛失・盗難等があっても情報の流出を防ぐことができます。
自動暗号化機能により、パスワード設定後は自動的にすべてのデータを暗号化してから書き込みをおこなうので、暗号化されていないデータが書き込まれることはありません。またデータの読み出しにおいても、自動的に復号化が行われるので、暗号化を意識することなく、直接本製品内のデータを読み書きすることができます。
暗号化方式には、米国政府標準で日本政府も推奨している信頼性の高い「AES 方式」を採用しています。

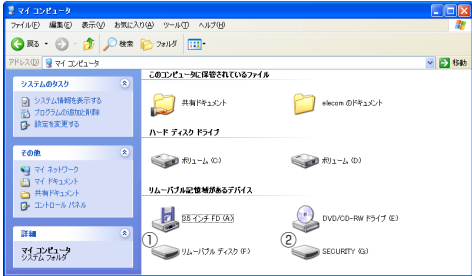


- 本製品は、内部データを第三者に漏洩されることを防ぐため、パスワードを 6 回間違えると内容をすべて消去してしまいます。パスワードは絶対に忘れないように管理してください。
- 正しいパスワードを入れる事ができないことによる、データの強制消去、内容確認が不可能になる事態、その他に対して当社は一切の責任を負いかねます。また、一切の補償をいたしません。

■ディスクのエリアについて

本製品をパソコンに接続すると、マイコンピュータに次の 2 つのアイコンが表示されます。

- ドライブ文字(アルファベット)はご使用環境により異なります。

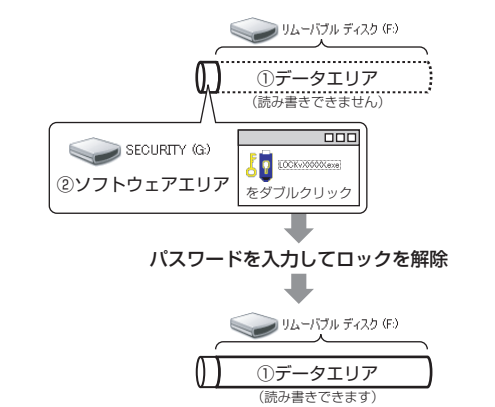


- ① データエリア
データを読み書きするためのメモリ領域です。パスワードを設定することで、データを保護できます。パスワードを設定しない場合は、リムーバブルディスクとしてすぐにお使いいただけます。パスワードを設定する場合は、「セキュリティ機能を使ってデータを読み書きする」(裏面)をお読みください。
※例えば、パソコンの最後のドライブが E の場合、「リムーバブル ディスク (F:)」と表示されます。
- ② ソフトウェアエリア
「① データエリア」(データを読み書きするためのメモリ領域)にパスワードを設定するためのソフトウェア「USB DISK Pro Security」が保存されています。
※例えば、「① データエリア」が F の場合、「SECURITY (G:)」と表示されます。ご使用環境により、「リムーバブル ディスク (G:)」と表示される場合があります。
- ソフトウェアエリアをデータの読み書きに使用することはできません。

- 本製品は、外付けの USB1.1 ハブ環境下では正しく動作しない場合があります。USB ハブを使用する場合は、USB2.0 ハブを使用してください。
- ご使用環境により、①と②の表示順が逆になる場合があります。

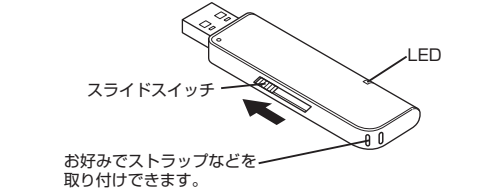
■パスワード設定とロック解除について

データエリアにパスワードを設定すると、リムーバブルディスクのアイコンは表示されますが、パスワードを入力してロックを解除するまで、読み書きできなくなります。



ソフトウェア「USB DISK Pro Security」についての詳細は、「セキュリティ機能を使ってデータを読み書きする」(裏面)をお読みください。

本製品の各部の名称

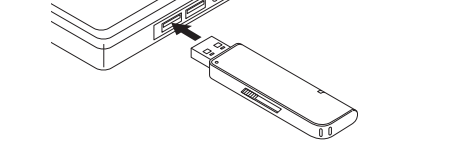


Windows Vista®、Windows® XP/2000 で使用する

- Windows® 2000 で本製品をお使いになる場合は、バージョンがサービスパック 4 以降である必要があります。詳細は、「Windows® 2000 のバージョンの確認」を参照してください。

パソコンに接続する

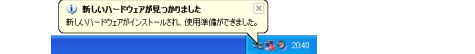
- 1 スライドスイッチを使い USB コネクタをスライドさせます。
- 2 パソコンの USB ポートに接続します。



USB ポートの上下方向に注意して接続してください。自動的に本製品の認識が開始されます。認識の完了後に使用できます。2 回目以降は挿入するだけで使用できます。

- お使いのパソコンが USB2.0 に対応していない場合
● Windows® XP サービスパック 1 以前のときは「高速ではない USB ハブに接続している高速 USB デバイス」のメッセージが表示されます。
● Windows Vista®, Windows® XP サービスパック 2 のときは「さらに高速で実行できるデバイス」のメッセージが表示されます。
これは、本製品は USB2.0 に対応していますが、接続した USB ポートが USB2.0 に対応していないために表示されるメッセージです。この場合、本製品は USB2.0 ではなく 1.1 の速度で動作します。

- 3 タスクトレイにインストール完了のメッセージが表示され、自動的に認識されます。



これで本製品とパソコンの接続は完了しました。

- デバイス認識中およびデータ転送時に LED が赤色で点滅します。

取りはずすには

パソコンの電源が入った状態で本製品の取り出し時、スタンバイや休止状態に移行する前は、次の手順で本製品を取りはずしてください。

- 本製品を読み書きしている状態(LED: 赤色点滅)で、本製品をパソコンから取りはずさないでください。本製品の故障や、ファイルの破損・消失の原因となります。
- 本製品を Windows® 2000 の制限付きのユーザーアカウントで使用する場合、タスクトレイから (デバイスの取り外し) アイコンが消えてしまいます。その場合は本製品を読み書きしていないこと(LED: 消灯)を確認して、そのまま本製品をパソコンから取りはずしてください。

- 1 本製品を読み書きしていないこと(LED: 消灯)を確認します。
- 2 タスクトレイにある (デバイスの取り外し) アイコンを左クリックします。
- 3 Windows Vista®, Windows® XP/2000 の場合は、表示されたメッセージをクリックします。

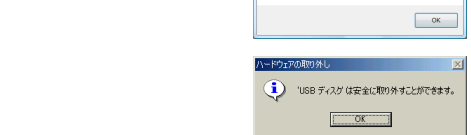
- 本製品以外に他の USB 機器や PC カードを使用している場合は、両方の名前が表示されます。この場合は本製品のメッセージ(USB 大容量記憶装置デバイス)をクリックしてください。

- 4 「安全に取り外すことができます。」という内容のメッセージが表示されます。

- Windows® XP の場合
手順 5 に進みます。



- Windows Vista®, Windows® 2000 の場合
OK ボタンをクリックし、手順 5 に進みます。

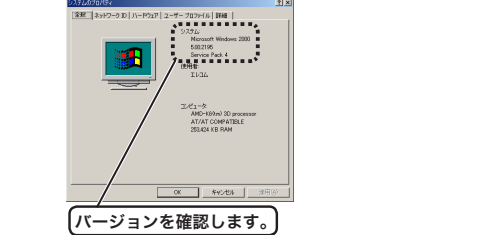
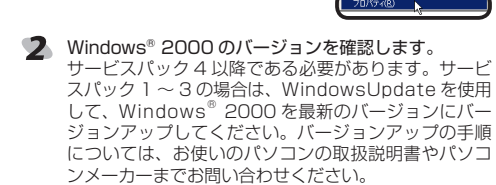


- 5 本製品をパソコンの USB ポートから取りはずします。

Windows® 2000 のバージョンの確認

次の手順で Windows® 2000 のバージョンを確認します。

- 1 デスクトップにある[マイコンピュータ]アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。システムのプロパティが表示されます。



本製品のセキュリティ機能については裏面をお読みください。

セキュリティ機能を使ってデータを読み書きする

パスワードを設定してデータを保護するセキュリティ機能は、本製品に保存されているソフトウェア「USB DISK Pro Security」を使用します。

- セキュリティ機能を使用する場合は、本製品を同時に複数台使用することはできません。
- パスワードを設定しない場合は、データは暗号化されません。

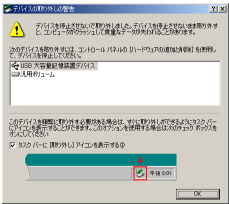
USB DISK Pro Security を起動する

- 1 マイコンピュータからソフトウェアエリアをダブルクリックします。
例えば、「①データエリア」がFの場合、「SECURITY (G:)」と表示されます。ご使用環境により、「リムーバブル ディスク (G:)」と表示される場合があります。

- 2 ご使用環境により、「データエリア」と「ソフトウェアエリア」の表示順が逆になる場合があります。

- 3 「LOCKVXXX.exe」をダブルクリックします。「USB DISK Pro Security」が起動し、メイン画面が表示されます。

- 4 制限付きのユーザーアカウントでご使用の場合
●Windows® XP のときは、タスクトレイにポップメッセージが表示される場合があります。



- 5 「OK」をクリックしてください。



- 6 「USB DISK Pro Security」が起動し、メイン画面が表示されます。



- ① [About] ボタン
クリックすると、バージョン情報が表示されます。
- ② パスワードの状態：
パスワードが設定されていない場合は「無効」、設定されている場合は「有効」と表示されます。
- ③ Flash Drive の状態：
パスワードが設定されていない場合やパスワードのロックを解除している場合は「解除」、パスワードを設定して解除していない場合は「ロック」と表示されます。
- ④ [パスワード設定] ボタン／ [パスワード変更] ボタン
パスワードが設定されていないときは [パスワード設定] ボタン、設定されているときは [パスワード変更] ボタンになります。
詳細は「パスワードを設定する」、「パスワードを変更する」をお読みください。
- ⑤ [パスワード削除] ボタン
詳細は「パスワードを削除する」をお読みください。
- ⑥ [ログイン] ボタン／ [ログアウト] ボタン
詳細は「ロックを解除してデータを読み書きする」をお読みください。
- ⑦ [パスワードヒント] ボタン
パスワードヒントが設定されている場合に表示されます。クリックすると、パスワードヒントが表示されます。
- ⑧ [閉じる] ボタン
「USB DISK Pro Security」を終了します。

パスワードを設定する

- 1 ご購入時はパスワードは設定されていません。

- 1 「USB DISK Pro Security」を起動し、メイン画面 [パスワード設定] ボタンをクリックします。
- 2 次の画面が表示されますので、各項目を入力して [Apply] ボタンをクリックします。



- ① [現在のパスワード (16 文字以内)] :
入力する必要はありません。
- ② [新しいパスワード (16 文字以内)] :
任意のパスワードを半角英数字 16 文字以内で入力します。
- ③ [再入力 (16 文字以内)] :
② で入力したパスワードを再度入力します。
- ④ [パスワードヒント (32 文字以内)] :
パスワードを忘れたときに、思い出し手がかりになるようなヒントを半角 32 文字または全角 16 文字以内で入力します。
入力しなくてもかまいません。
設定すると、メイン画面の [パスワードヒント] ボタンをクリックして、設定したパスワードヒントを表示できます。



- 1 解除される恐れがあるような、簡単なパスワードや分かりやすいヒントを設定しないように注意してください。

- ⑤ パスワード表示
チェックすると、* で隠し表示されている②、③のパスワードが、入力した文字のまま表示されます。



- 3 次の画面が表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。



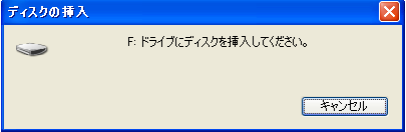
- 4 本製品をいったんパソコンから取りはずします。
次回パソコンに接続したときから、パスワードが設定された状態になります。

- 1 パスワードを設定したあと、本製品をパソコンから取りはずすまでは、データを読み書きできる状態です。

ロックを解除してデータを読み書きする

データエリアにパスワードを設定している場合は、アクセスする前に、次の手順でロックを解除します。

- 1 ロックを解除せずに、パスワードを設定したデータエリアを先にダブルクリックした場合は、次の画面が表示されます。[キャンセル] ボタンをクリックしてください。



- 1 「USB DISK Pro Security」を起動し、メイン画面の [ログイン] ボタンをクリックします。

- 2 「パスワード:」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- 1 パスワードの入力に 6 回失敗すると、USB ディスクのフォーマットが実行されてしまいます。正しいパスワードを入力してください。

- 1 ● [パスワード表示] をチェックすると、* で隠し表示されているパスワードが、入力した文字のまま表示されます。
● [パスワードヒント] ボタンをクリックすると、設定したパスワードヒントを表示できます。

- 3 次の画面が表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。



データエリアの内容が表示されます。
これで、データが読み書きできるようになりました。

- 1 ロックを解除したあと、本製品をパソコンから取りはずすまでは、データを読み書きできる状態です。
本製品をいったんパソコンから取りはずし、次回パソコンに接続したときは、ロックのかかった状態になります。パソコンから取りはずすときにロックをかけ直す必要はありません。

パスワードを削除する

設定したパスワードを削除して、パスワードの設定されていない状態に戻すことができます。

- 1 「USB DISK Pro Security」を起動し、メイン画面の [パスワード削除] ボタンをクリックします。

- 2 「パスワード:」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- 1 パスワードの入力に 6 回失敗すると、USB ディスクのフォーマットが実行されてしまいます。正しいパスワードを入力してください。

- 1 ● [パスワード表示] をチェックすると、* で隠し表示されているパスワードが、入力した文字のまま表示されます。

- [パスワードヒント] ボタンをクリックすると、設定したパスワードヒントを表示できます。

- 3 次の画面が表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。



これで、パスワードが削除されました。
次回からロックを解除する必要はありません。

パスワードを変更する

現在設定しているパスワードを変更することができます。

- 1 「USB DISK Pro Security」を起動し、メイン画面の [パスワード変更] ボタンをクリックします。

- 2 次の画面が表示されますので、各項目を入力して [Apply] ボタンをクリックします。



- ① [現在のパスワード (16 文字以内)] :
現在のパスワードを半角英数字 16 文字以内で入力します。
- ② [新しいパスワード (16 文字以内)] :
任意のパスワードを半角英数字 16 文字以内で入力します。
- ③ [再入力 (16 文字以内)] :
② で入力したパスワードを再度入力します。
- ④ [パスワードヒント (32 文字以内)] :
パスワードを忘れたときに、思い出し手がかりになるようなヒントを半角 32 文字または全角 16 文字以内で入力します。
入力しなくても構いません。
設定すると、メイン画面の [パスワードヒント] ボタンをクリックして、設定したパスワードヒントを表示できます。

- 1 解除される恐れがあるような、簡単なパスワードや分かりやすいヒントを設定しないように注意してください。

- ⑤ パスワード表示
チェックすると、* で隠し表示されている①、②、③のパスワードが、入力した文字のまま表示されます。

- 3 次の画面が表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。



- 4 本製品をいったんパソコンから取りはずします。
次回パソコンに接続したときから、パスワードが変更された状態になります。

- 1 パスワードを変更したあと、本製品をパソコンから取りはずすまでは、データを読み書きできる状態です。

仕様とユーザーサポート

仕様

対応OS	Windows® 2000 (SP4 以降) / XP Windows Vista®
同梱物	操作マニュアル 1 枚 ReadyBoost 設定ガイド 1 枚 保証書 1 枚
インターフェイス	USB2.0/1.1
外形寸法	W 78 × D 20 × H 9 (mm) (コネクタ伸長時) W 66 × D 20 × H 9 (mm) (コネクタ収納時)
本体質量	14g
データ転送速度	最大読込速度 : 25MB/sec 最大書込速度 : 18MB/sec
最大転送速度	480Mbps (理論値)
暗号化方式	AES 128 bit

ユーザーサポートについて

【よくあるご質問とその回答】

www.elecom.co.jp/support
こちらから「製品 Q&A」をご覧ください。

【お電話・FAX によるお問い合わせ (ナビダイヤル)】

エレコム総合インフォメーションセンター

TEL : 0570-084-465
FAX : 0570-050-012

【受付時間】
9:00 ~ 19:00
年中無休

※本製品の保証書は再発行致しませんので内容をお確かめのうえ大切に保管してください。

- 保証規定
- 保証内容
1. 弊社が定める保証期間(本製品ご購入日から起算されます。)内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。
- 無償保証範囲
2. 以下の場合には、保証対象外となります。
(1) 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
(2) 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、またはご購入日が確認できる証明書(レシート・納品書など)をご提示いただけない場合。
(3) 保証書に角造・改変などが認められた場合。
(4) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
(5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
(6) 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
(7) 本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
(8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
(9) その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。
- 修理
3. 修理のご依頼は、本保証書の本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
- 保証期間
4. 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
- 免責事項
8. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
9. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。
- 有効範囲
10. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
11. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

セキュリティ付 USB 2.0 フラッシュメモリ

MF-JU2xxx シリーズ

操作マニュアル

2008 年 2 月 20 日 第 1 版

- 本操作マニュアルの著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- 本操作マニュアルの内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
- 本操作マニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不明な点がございましたら、サポートセンターまでご連絡願います。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。